

住民セミナー 『ほうしゃせんについて』を開催しました

プログラム

開催日：平成30年11月12日（月）双葉郡内の小学校
対象：1年生～3年生（計18名）

13:55～14:40 講演『ほうしゃせんについて』

講師：坪倉 正治 先生（相馬中央病院副院長）



講演内容



- 「ほうしゃせん」とは
 - ・光に似ている
 - ・ものを通り抜けることができる
 - ・放射線は人にはうつらない
- 身の回りの放射線
 - ・宇宙、地面、空気、食べ物など身の回りに放射線がある
 - ・「レントゲン写真」や「医療器具の消毒」に利用している
- 被ばくの種類と測定方法
 - ・「内部被ばく」「外部被ばく」がある
 - ・「ホールボディ・カウンタ」「ガラスバッジ」で測れる

講演の様子



アンケートから

正しいことをして、
きちんとはんだんしよう



- 児童から
 - ・放射線をいつでもどこでも浴びているのがわかった。
 - ・面白かった。
 - ・昔のことも教えてくれて、少し難しかったがわかりやすかった。
- 教師から
 - ・パソコンを使っただけの授業で、絵や写真があって大変わかりやすかった。話の内容が変わるとき振り返っていたため、覚えやすかった。
 - ・専門的な人から教えていただくことで、子供たちも意欲的に興味をもって学習することができた。